

新たな道の駅 公募型プロポーザル =平成29年度各会計決算を認定=

9月定例会

第3回定例会が、9月12日から10月3日までの22日間の会期で開かれ、一般会計補正予算や条例改正などの議案、陳情等について審議しました。一般質問では、11名が13項目について理事者の考えをたきました。

議案の審議では、各会計補正予算や条例改正などの議案すべてを原案どおり可決した。第2回定例会で総務

文教常任委員会（平山隆委員長）に付託され、継続審査となっていた陳情「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の提出を求める件は、採択とする委員長報告があった。1名が反対討論を行い、起立採決の結果、採択と決定した。採択された陳情に伴う意見書について1名が賛成討論を行い、起立採決の結果、原案どおり可決した。（討論はP14、議員の賛否はP15参照）

北海道町村議長会から依頼のあった林業・木材産業に関する意見書も原案どおり可決し、関係機関に送付した。

平成29年度一般会計ほか5特別会計、水道、下水道事業会計、関連議案2件及び報告2件は、定例会初日に設置した決算審査特別委員会（堀江美夫委員長、神長基子副委員長）に付託した。5日間にわたり審査を行い、決算については認定、関連議案については原案可決、報告案件については報告済みとする委員長報告があった。1名が賛成討論を行い、全会一致で認定、可決し



自家発電で開催 よつ葉ミルクフェスタ

た。このほか、教育委員会委員の任命について追加提案され、これに同意した。

決まった 主な内容

道の駅整備事業 審査委員会を設置

新たな道の駅の整備に当たり、「音更町道の駅整備事業者審査委員会」を設置した。提案方法については、民間事業者の優れた企画力とノウハウを活用す

平成30年度 主な一般会計補正予算

(千円単位以下切り捨て)

- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 2億9,544万円
- 音更町宿泊助成事業補助金 2,000万円
- 環境保全型農業直接支払交付金 1,403万円

第3回定例会初日の9月12日、小野町長から行政報告がありました。また、10月3日の定例会最終日には台風21号及び北海道胆振東部地震による被害状況と対応について諸般の報告がありました。

行政報告



◆保育園民営化等に係る事業者の選定

平成31年度からの柳町保育園の民営化及びへき地保育所の運営委託を行うため事業者を募集した。児童福祉施設運営事業者選定委員会に諮問した結果、柳町保育園は「学校法人帯広葵学園」、へき地保育所は「学校法人帯広葵学園」「社会福祉法人音更福祉事業協会」「社会福祉法人大谷菩提樹会」が適当であるとの答申のとおり選定した。

◆通所型介護予防事業等に係る事業者の選定

平成31年度からの通所型介護予防事業の運営委託並びに特定施設入居者生活介護及び認知症対応型共同生活介護の施設整備及び運営を行う事業者を募集した。地域密着型サービス等運営部会に諮問した結果、通所型介護予防事業は「㈱すてーぶるす」、特定施設入居者生活介護は「医療法人社団博愛会」、認知症対応型共同生活介護は「社会福祉法人元気の里とからち」が適当であるとの答申のとおり選定した。

◆昭和小学校の閉校及び統合

昭和2年に音更村立昭和尋常小学校として開校以来、90年を超える長い歴史と伝統を有する昭和小学校は、児童数の減少傾向が続き、今後も回復が見込めないことから、教育委員会は地域及びPTAの意向を尊重し、平成32年3月31日をもって昭和小学校を閉校して音更小学校に統合することを議決した。閉校後の校舎等の利活用については今後検討していく。

＝ 10月3日諸般の報告＝

◆台風21号の影響による被害状況

行政報告の後、新たに公園の倒木が確認された。農業被害の状況を精査した結果、スイートコーンの倒伏、デントコーンの折損、大豆の倒伏が判明したほか、新たにビニールハウスの一部破損が確認された。停電については、9月5日字下土幌北1線東の約30戸、字豊田東8線から10線までの約20戸で発生した。

◆平成30年北海道胆振東部地震による被害状況と対応等

地震とともに発生した停電は、9月6日午後10時過ぎから徐々に復旧が始まり、8日午前0時14分に町内全域が復旧した。役場庁舎など17施設では自家発電機で対応し、木野支所など19施設では発電機を設置して電気の供給を行った。コミバスの運休、小中学校全18校の臨時休校、図書館や総合体育館なども臨時休館とした。学童保育所は時間を繰り上げて開所した上で昼食も提供した。上下水道では、2つのマンホールポンプ所で汚水の移送作業や倒木処理を行った。農業被害は、ブロッコリー及び生乳12トンを廃棄したほか、乳牛180頭が乳房炎となった。宿泊施設の予約キャンセルは10,122人となり、対応として宿泊助成事業を実施することとした。

後継者対策を目的とす

農業後継者の定住 基金条例案を可決

平成30年5月、農業

るため、設計から管理運営までを一括提案とする公募型プロポーザル方式で実施する。

る1千万円の寄附があった。寄附者の意向を踏まえ、農村地域の活性化のため、これを財源とする基金を新たに設置。30年4月以後に、農村地域に住宅を新築または購入して居住を開始した農業後継者に

対して、奨励金50万円を交付する。

「議会だより」の編集を行う広報特別委員会の委員定数を、6名から7名に変更し、新

広報特別委員 1名を補充選任



坂本夏樹 議員

たに坂本夏樹議員を選任した。

教育委員の 任命に同意

任期満了となる教育委員について、次の方の任命に同意した。

・川井麗子さん(再任)
ひびき野西町2丁目1番地21